

◆ 教育目標 きたえる学校

「自ら考え進んで学ぶ人になろう」

「情操を高め心豊かな人になろう」

「心身をきたえたくましい人になろう」

◆ 目指す銀中生像 志を高く

「よく考える銀中生」「やさしい銀中生」

「つよい銀中生」

「自然の力に勝る力なし」

副校長 磯田 耕司

年末年始に、海外で危惧していた変異株オミクロン株による国内の感染者の急増が知らされ、東京都もまん延防止等重点措置が適用されました。3学期の始まりも感染を警戒してタブレットを使用しての始業式を行いました。今後も感染防止対策を徹底したうえでの教育活動を進めていきます。学年だより等でお知らせしましたが、これからの行事関係も変更・中止を余儀なくされることも予想されますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

さて、1月15日午後1時10分ごろ（日本時間）に発生した南太平洋のトンガ諸島（日本から8000キロ）での大規模な火山噴火。当初、気象庁は「日本での津波被害の心配はなし」としていましたが、約11時間後の16日0時15分に津波警報・注意報を発表され、日本の広範囲で津波が観測され潮位が最大1メートル以上も上昇し、この潮位変化は極めてまれな「揺れを伴わない津波」だったそうです。衝撃波による空気の振動である「空振」が原因の一つであり、ほかの現象も関係する複雑なメカニズムによる津波だったとみられています。

私が15年ほど前に小笠原に赴任している時に、気象の影響の大きさを何度か感じることもありましたが。亜熱帯に属する小笠原は年間を通して温暖な気候で1月1日に海開きが行われる島です。東京から南に1000キロ離れているのに2月に東京が寒ければ、小笠原でも寒さを感じるなど上空の気団の流れが影響することを体感し、夏に大きな台風が通過すれば、その台風が東北に進んでも潮流が引っ張られダイビングなど海のレジャーが危険だったことも思い出しました。今回の潮位変化や空振による気圧変化、自然が発生させるエネルギーの大きさは、人間が太刀打ちできる規模ではないことを改めて考えました。自然災害のメカニズムなど分からないことも多く、自然の力に勝る力は科学の力をもってもまだまだ災害を防ぐことはできません。

地球温暖化による気候変動によって発生する異常気象は、人間の暮らしが便利で豊かになったことで自然を破壊し環境を変えてしまったからと言われていています。人間の手によって海に廃棄された石油、ごみ、生活排水などの物質が海域を汚染し、巡り巡って海洋生物たちの生態系のバランスを脅かす現象の海洋汚染の可能性が言われ、多くの工場から空気中に流出した有害物質と太陽光に含まれる紫外線とが化学反応を起こして発生する「光化学スモッグ」「PM2.5」による大気汚染や森林の伐採による森林破壊が気候変動への影響し、結果的には地球温暖化を進行させることになるそうです。

我々が豊かな生活を送るうえで、便利な生活を求めてきた結果として環境問題に取り組むことが求められています。また、学校では、身近なところから取り組むことで、問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動（ESD）を進めています。これらの自然の大きな力は、ひとたびタカが外れると、私たちにはどうしようもありません。問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう自然を大切にすること、環境問題解決のため、今私たちにできることを少しずつでも行うことが住みよい地球を維持していくことにつながると考えます。

〈2月の主な行事予定〉

- 2日（水） 都立推薦発表
- 7日（月） 全校朝礼、専門・中央委員会
- 11日（金） 建国記念の日**
- 14日（月） 生徒会朝礼、都立一次取り下げ
- 15日（火） 校内作品展始
- 17日（木） 避難訓練
- 19日（土） 土曜授業日、校内作品展終
- 21日（月） 都立一次入試
- 23日（火） 天皇誕生日**
- 22～25日 学年末考査
- 25日（金） 1組校外学習



〈3月の主な行事予定〉

- 1日（火） 専門・中央委員会
- 2日（水） 都立一次発表
- 7日（月） 全校朝礼
- 14日（月） 生徒会朝礼
- 15日（火） 三送会
- 18日（金） 第38回卒業式
- 21日（月） 春分の日**
- 24日（木） 大掃除
- 25日（金） 修了式



避難訓練

1月17日(水)に避難訓練を行いました。今回は2月の避難訓練で行う「不審者の校内侵入を想定した避難訓練」に向けて座学を行いました。自分たちの身を守るために各クラスで担任の先生の話の真剣に聞くことができました。



全国いじめ問題子供サミット

1月22日(土)に「全国いじめ問題子供サミット」が開催され、生徒会本部の2名が本校を代表して参加しました。当初の予定では霞ヶ関にて行う予定でしたが、昨今の社会情勢を鑑み、オンラインで他校と活発な意見交換をすることができました。



第74回中央区立中学校生徒作品展覧会

1月14日(金)～1月17日(月)に第74回中央区立中学校生徒作品展覧会が教育センターで行われました。銀座中学校からは、1組、技術、家庭科、美術、家庭科部の作品と書き初めでの受賞作品が展示されました。



和楽器教室 (1年)

1月26・27日(水・木)に1年生の音楽の授業の一環として、琴教室を行いました。講師の先生を招き、琴の演奏を聞いたり、実際に演奏してみたりと貴重な体験ができました。



校内書き初め展

冬休みの課題として出されていた書き初めが、各学年の廊下に掲示されています。1年生は「青雲大志」「宇宙の旅」2年生は「自然の美」「強い信念」3年生は「温故知新」「躍動する心」と、2つのテーマの中から選び、1組は、自分にあったものを選んで書いています。

中学生らしく勢いのある文字を書く生徒もいれば、技術が高く繊細に書いている生徒もいて、とても個性的で見応えのある作品ばかりでした。

また、校内展だけではなく、第74回中央区立中学校生徒作品展覧会に出展した生徒もいました。

